

林野庁プレスリリース(12月)

林政審議会施策部会地球環境小委員会の概要
(12/3)

農林水産公共事業のコスト縮減対策の概要
(12/11)

気候変動枠組条約第13回締約国会議
(COP13)等の結果(12/17)

「主要木材の短期需給見通し(平成20年
第1四半期及び平成20年第2四半期)」
(12/26)

林野庁 一口メモ

冬の森林レクリエーション

寒い季節となり、スキー・スノーボードのシーズンがやってきました。

皆さんは、国有林野の中にスキー場があることをご存じでしょうか？

林野庁では全国の国有林のうち、保健・文化的利用の場としてレクリエーションの森を選定しています。このレクリエーションの森は、四季折々の自然の美しさを楽しむ自然休養林をはじめ、豊かな自然環境を積極的に活用した登山、キャンプ、ハイキング、スキーなど様々な余暇活動のフィールドとして、国民の皆さんに親しまれています。

冬季も、ゲレンデスキー、バックカントリースキーのほか、スノーシュー(西洋かんじき)を履いての気軽なトレッキングなど、利用の形態も多様化が進んでいます。

12月には農林水産省内にある「消費者の部屋」で「国有林野の利用」と題してレクリエーションの森、スキー場及び森林環境教育活動の展示、ネイチャークラフト教室などを行ったところ、小学生から大人まで多くの方に見学・体験していただきました。

全国各地にある森林管理局や森林管理署などにもレクリエーションの森の情報がありますので、お気軽にお問い合わせください。



編集 後記

この時期、広葉樹が茂る街路にはたくさんの落ち葉が散っています。先日、その落ち葉でとても楽しげに遊ぶ子どもたちを目にしました。落ち葉の上を次々と飛び移って遊ぶ子や、拾い集めて空に投げ散らす子、形の違う落ち葉を大人に説明する子、などの子どもも楽しそう。そのとき、落ち葉は子どもたちへの森林教育学習のツールになりえる、落ち葉への興味から、木の存在を意識するようになる、と思いました。

子どもたちへの森林教育学習が声高に言われている昨今、学習内容には工夫を凝らしたプログラムが用意されがちですが、シンプルな落ち葉遊びなど子ども目線のプログラムこそ大切なのではないでしょうか。

林野 RINYA 1月号 No.10

平成20年1月15日発行

発行 林野庁

〒100-8952 東京都千代田区霞ヶ関1-2-1

電話 03-3502-8111(代) FAX 03-3591-6505

編集 株式会社トレイントラックス

東京都渋谷区富ヶ谷1-41-7 クリサンテ1002

印刷 財団法人林野弘済会

東京都文京区後楽1-7-12